

笑顔になれるおべん当

龍王小学校 三年 松嶋 紗代

わたしは、夏休みに家そくのためにおべん当を作りました。なぜおべん当を作る事になったかと言くと、わたしが工作でおり紙を使っておべん当を作っているとお母さんが、「明日、お昼ごはんにおべん当作ったらい。」と言ってくれたからです。

おべん当を作る前日にメニューを考えてリストを書きました。そして、おべん当を作った日に買い物リストを持ってスーパーへ行きました。ブロッコリー、しらす、のり、ウインナー、チーズのじゅんに、近くにある物からとると言うことをエふうしました。帰ったら、手をあらっておべん当作りにとりかかりました。スクランブルエッグやブロッコリーなど、やいたりゆでたりするあつい物からじゅんにやっけていきました。なぜなら、あつすぎで夏なので、あついとなってはよろこんでもらえないかもしれなからです。一番むす

かしかったのは、タコウインナーと、おにきりです。ウインナーは切るところがむすかしかったです。なので切る時、お母さんが心配してくれました。ブロッコリーは、かたいと思っ
ていました。たがとてもやわらかかった。たです。つきはおにぎりです。おにぎりでは、むすかしかった事が二つありました。一つ目は、ごはんがちよつとあつかった。たのにきりにくか
ったのです。二つ目はごはんがラップにくつづくことです。のりをまく時ラップを外しま

す。その時ラップがごはんつぶだらけだと、のりをまきにくくなります。さい後のおにぎりが出来たら、おべん当につめました。ふたを開けたお母さんとお兄ちゃんは、

「わあ、おいしそウ。」

「すごい。」

などとはめてくれました。何どもおかわりしてくれて、とてもうれしかったです。

みなさんもおべん当を作って家ぞくや友だちを笑顔にしてみてください。